

公認アーチェリーコーチ3
資格概要

2019年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人全日本アーチェリー連盟	
養成目的		競技者の指導にあたるとともに、後期スポーツセンターなどの指導拠点において競技者の技術強化にあたる指導者を養成する。	
役割		競技力向上プログラムの作成に参画し、トップ選手を育成する。地域スポーツクラブ、都道府県協会傘下の協会の巡回指導。学校におけるアーチェリー部の指導。海外派遣チームの強化プログラムの企画・運営。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在満25歳以上で、アーチェリー経験5年以上の者。(公社)全日本アーチェリー連盟会員登録者であること。都道府県協会が推薦し、(公社)全日本アーチェリー連盟が認める者。	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅲ(150h)
		専門科目	アーチェリー専門科目(60h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅲ:20000円(税抜)／教師:56000円(税別)※別途リファレンスブック代:3000円(税抜)
		専門科目	競技団体によって別途定める
		スタートコーチ	円()
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	<p>■講習会 JSPO指定の共通科目の履修、及び都道府県アーチェリー協会(連盟)が主管する専門科目講習会への全日程に参加のこと。</p> <p>■検定試験 専門科目の全日程参加者を対象に、(公社)全日本アーチェリー連盟が実施する。</p> <p>■審査 (公社)全日本アーチェリー連盟指導者育成委員会(兼普及部)において、専門科目の全日程確認、及び検定試験の結果により、専門科目の修了者をJSPOに報告する。</p> <p>■免除要件 次の条件を満たす者からの申し出の都度、(公社)全日本アーチェリー連盟指導者育成委員会(兼普及部)が審査の上、減免内容等を決定し、JSPOに報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.一定の実技・指導実績を有する者で、加盟団体の推薦のある者 2.競技者として選手経験が優秀と認められる者(当連盟主催競技大会で優秀な成績を挙げた者) 3.国際大会に日本代表として本連盟より派遣された選手・監督・コーチ等で、資質及び能力が優れていると認められた者。 4.全国レベルの大会において、入賞チーム及び選手の指導歴を有する者。
	登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料:10,000円
			資格別登録料:5,000円
初期登録手数料(初回登録時のみ):3,000円			
更新登録要件	資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、(公社)全日本アーチェリー連盟が定める研修会又はJSPO(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。		
特記事項			

公認アーチェリーコーチ3

2019年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	競技規則とフェアプレー(審判実習)	0.00 h	8.00 h	8.00 h
	②	選手の健康指導(ドーピング、栄養指導、スポーツ障害の予防)	6.00 h	0.00 h	6.00 h
	③	スポーツ心理	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	④	生涯スポーツ概論	2.00 h	4.00 h	6.00 h
	小計		10.00 h	12.00 h	22.00 h
② 実技	①	救急救命講習	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	②	コミュニケーションスキル	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	③	安全指導	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	小計		7.00 h	0.00 h	7.00 h
③ 指導実習	①	指導実習(トレーニング法)	8.00 h	2.00 h	10.00 h
	②	指導実習(コーチング、チューニング)	13.00 h	2.00 h	15.00 h
	③	指導計画の作成と評価	2.00 h	4.00 h	6.00 h
	小計		23.00 h	8.00 h	31.00 h
			40.00 h	20.00 h	60.00 h